

# 事例 1

～グリーンファンドからの出資を活用した事業化事例～

## 地域分散型太陽光発電事業

### ■事業及び発電設備の概要

福島県会津地域において、合計出力 1,450kW の太陽光発電設備を導入した。地域別内訳は、喜多方市岩月町に 300kW、他の会津地域内に 20 ヶ所で計 1,150kW である。事業主体は、会津電力や一般社団法人グリーンファイナンス推進機構等が出資し、平成 25 年 12 月に設立された「アイパワーセット株式会社」(SPC) である。(この他、会津電力単独で実施している太陽光発電事業分を含めると、合計 2.54MW の出力となる。)

上記岩月町の設備 (300kW) 及び地域分散型設備 20 ヶ所の内 1 つは、平成 26 年 4 月 1 日より建設が開始された。その後、毎月数ヶ所ずつ建設が開始され、9 ヶ月後に、20 ヶ所全ての建設が完了し売電が開始されている。また、平成 26 年 3 月 28 日～平成 26 年 9 月 30 日の間、同事業の資金の一部を得るため、市民ファンド (「会津ソーラー市民ファンド 2014」) を募集し、9980 万円 (20 万円× 499 口) の出資を得た。

### ■事業実施上の課題

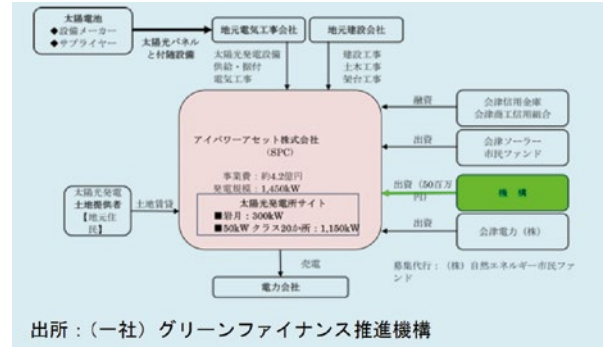
#### 土地取得の問題

地域分散型設備 20 ヶ所の設置場所を確保するのに苦労した。当初、平成 26 年 4 月 1 日に 1 号機の建設が開始されてから 4 ヶ月間で 20 ヶ所全ての建設が完了する予定であったが、結果的に 9 カ月かかった。これは、候補地を実際に現地調査等をしてみると、農振地域であったり (54 ページ参照)、抵当権に入っていたり、国立公園指定地域であったりして (77 ページ参照)、土地選定に時間がかかったためである。



<岩月発電所>

### ■事業の実施体制



### ■利用した施策と内容

環境省の「地域低炭素投資促進ファンド事業」(137 ページ参照) を活用した。同制度の活用により、(一社) グリーンファイナンス推進機構より総出資額の 2 分の 1 未満の出資を受けることが可能となる。

### ■施策を利用したことによる事業の成果

(一社) グリーンファイナンス推進機構より出資を受けたことにより、地元金融機関 (会津信用金庫、会津商工信用組合) からの融資を円滑に受けることができるようになった。

もし同制度を活用できなかった場合は、会津電力の自己資金で事業を行うことになっていたが、出資額に限度もあり、金融機関からの融資額も限られていたと考えられるため、事業規模はかなり小さくなっていたと予想される。

### ■問い合わせ先

会津電力株式会社  
アイパワーアセット株式会社  
住所：福島県喜多方市天満前 8845-3  
URL：<http://aipower.co.jp/>